

2011年(平成23年)2月23日 水曜日

リオ豪雨状況報告

A M D A
総社市職員

豪雨災害の被災者支援でブラジル・リオデジャネイロ州に出向いた国際医療ボランティア A M D A (本部・岡

山市)の看護師石岡未和さん(30)と、ブラジル出身の総社市嘱託職員・譚俊偉さん(37)が

22日、同市役所で帰国会見し、被災地の状況などを報告した。同州は1月11日以降、大雨による洪水や地滑りが発生。2人は同18日に日本を出発、被害の大きかった同州ノバフリブルゴ市などで活動した。石岡さんは今月15日、譚さんは同日に帰国した。



現地での支援活動を報告する石岡さん(左)と譚さん

石岡さんは、土砂崩れや濁流の跡が残り、がれきが散乱していた現地の状況を映像を使って説明。「赤十字社が巡回診療していたこともあり、医療支援の必要はあまりなかったが、生活支援物資が十分届いていない地域があった」と話した。

通訳や現地での情報収集に当たった譚さんは「これからもできることがあれば支援したい」と述べた。

総社市は A M D A と結んでいる「多文化共生に関する協定」に基づき、今回初めて職員を被災地に派遣した。

(新田真浩)